

農業分野における地中熱利用セミナー



～ 地中熱を利用したハウス栽培 ～



農業関連の事業者や一般県民を対象として、地中熱利用システムを用いた栽培実証試験の結果について情報提供することにより、農業分野での地中熱利用の可能性を示し、産業分野での地中熱利用の促進を図ることを目的としております。

■開催日時： 平成25年2月5日(火) 13:30～16:00

■開催場所： 観光物産館 アスパム 4F 奥入瀬

参加費：無料
定員：100名

※定員に達し次第、
締め切らせて頂きます。

◇開催内容

◆開場 13:00

◆開会挨拶 13:30～13:35(5分)

青森県エネルギー総合対策局 エネルギー開発振興課長 濱館 豊光

◆講演 13:35～14:15(40分)

「農業分野における再生可能熱エネルギー利用の可能性について」

現在、熱利用が期待されている再生可能エネルギーとしては、地中熱や温泉熱、地下水熱などがあります。農業分野での再生可能熱エネルギー利用について、具体的な取組事例等を交えながら紹介します。

青森県産業技術センター 理事長 唐澤 英年 氏

◆事例報告1 14:15～14:40(25分)

「寒冷地対応型植物工場における地中熱源ヒートポンプ運用結果の紹介」

寒冷地対応型植物工場において、地中熱を熱源とするヒートポンプを用いて暖房を行った際の結果について、性能やランニングコストの観点から報告します。

青森県産業技術センター 八戸地域研究所 主任研究員 赤平 亮 氏

<休憩10分>

◆事例報告2 14:50～15:15(25分)

「地中熱利用による夏秋イチゴハウス栽培」

夏に商品価値の高い夏秋イチゴの、地中熱利用によるハウス栽培の研究の結果、今まで高コストのため普及できなかった栽培の低コスト化の道が開けてきました。

弘前大学 学長特別補佐 南條 宏肇 氏

◆事例報告3 15:15～15:35(20分)

「夏秋イチゴでの地中熱利用について」

栽培試験の結果、昨年の猛暑でも地中熱を利用した方が品質も良く、生産量も増加しました。農業者の立場から、この地中熱を利用した夏秋イチゴ栽培について感想・意見をお話いたします。

黒石いちご研究会会長 村元 清光 氏

◆情報提供 15:35～15:50(15分)

「地中熱利用農業栽培ビニールハウス”植物スマートハウス”」

弘前大学発ベンチャー企業「弘星テクノKK」で来年度販売予定であるビニールハウスと地中熱を利用したイチゴ等の栽培のためのシステム商品についての、開発現状と内容について報告します。

弘前大学 学長特別補佐 南條 宏肇 氏

◆意見交換 15:50～16:00(10分)

◆閉会挨拶 16:00

参加ご希望の方は、裏面申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-Mailにてお申し込み下さい。

主催：青森県

※本セミナーは国立大学法人弘前大学北日本新エネルギー研究所への業務委託により実施しております。

◇会場

〒030-0803
青森県青森市安方1丁目1番40号
青森県観光物産館アスパム
TEL:017-735-5311

◇アクセス

- ・JR青森駅から徒歩8分
- ・青森中央I.Cから車で15分

◇駐車場

収容台数:150台
1時間210円。以降30分ごと110円。



※アスパムの駐車場ご利用の方には、半額券をご用意しております。

参加申込書

※参加申込締切:2013年1月31日(木)15時まで

参加をご希望の方は、本申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは下記アドレスまでE-mailにてお申し込み下さい。

住所	〒
団体名 (所属)	
連絡先	TEL
参加者のお名前	ふりがな
参加者のお名前	ふりがな
参加者のお名前	ふりがな

お問い合わせ/ 国立大学法人 弘前大学 北日本新エネルギー研究所 〒030-0813 青森市松原2丁目1-3
FAX: 017-735-5411 E-mail: gaomori@cc.hirosaki-u.ac.jp
TEL: 017-762-7701

《個人情報に関する取り扱いについて》

この参加申込書に記入された個人情報につきましては、国立大学法人弘前大学北日本新エネルギー研究所をもって管理し、本イベントに関する連絡以外には使用いたしません。